

製品名: v-SNARE Vti1a ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19845**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	VTI1A
別名	VTI1A; Vesicle transport through interaction with t-SNAREs homolog 1A; Vesicle transport v-SNARE protein Vti1-like 2; Vti1-rp2
遺伝子 ID	143187.0
SwissProt ID	Q96AJ9
免疫原	抗血清はヒト VTI1A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

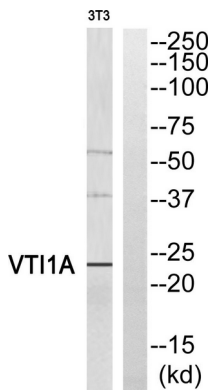
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内輸送に機能する可溶性 N-エチルマレイミド感受性融合タンパク質-付着タンパ

ク質受容体 (SNARE) ファミリーのメンバーです。このファミリーメンバーは、エンドソームとトランスゴルジ体ネットワーク間の小胞輸送に関与しています。これは、標的膜 SNARE (t-SNARE) と相互作用する小胞関連 SNARE (v-SNARE) です。この遺伝子の多型は、両眼機能、および大腸がんと肺がんの感受性と関連付けられています。大腸がんでは、この遺伝子と転写因子 7 様 2 (TCF7L2) 遺伝子の間に反復性転座が認められています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015 年 12 月]、機能: 標的膜上の t-SNARE との相互作用を介して小胞輸送経路を媒介する V-SNARE。これらの相互作用は、小胞輸送の特異性の側面を媒介し、脂質二重層の融合を促進すると考えられています。細胞老化に関連するサイトカインの分泌増加に関与している可能性があります。類似性: VT11 ファミリーに属します。、

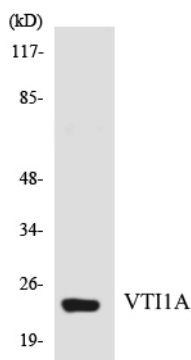
研究分野

小胞輸送における SNARE 相互作用;

画像データ



VT11A 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが VT11A ペプチドでブロッキングされている。



VT11A 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。